

平成19年度当初予算の概要

平成19年度予算が、平成19年第1回町議会定例会で可決され、一般会計など5つの会計が執行されることとなりました。平成19年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

東川町の平成19年度予算は、一般会計が39億5,300万円で前年度比較 3億6,700万円、8.5%減、特別会計総額では6億5,620万円で前年度比較 2億2,523万円、25.55%減となり、一般会計と特別会計の合計では46億920万円(前年度比較 5億9,223万円、11.39%減)となりました。

一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

一般会計 特別会計当初予算額

単位:千円

会計区分	本年度	前年度	伸び率%
一般会計	3,953,000	4,320,000	8.50
特別会計(合計)	656,200	881,425	25.55
国民健康保険	800	725	10.34
簡易水道事業	37,000	72,800	49.18
公共下水道事業	197,000	401,400	50.92
国保町立診療所	421,400	406,500	3.67
総合計	4,609,200	5,201,425	11.39

一般会計における予算の特徴

平成19年度の一般会計予算は、町長選挙の年であるため、骨格予算での編成になっています。一般会計予算の総額では、前年度に比べ3億6,700万円、8.50%減となりました。また、前年度予算で特殊要因であった国営事業の一括償還を除いた前年対比では、6,400万円、0.48%減の39億5,300万円となっております。

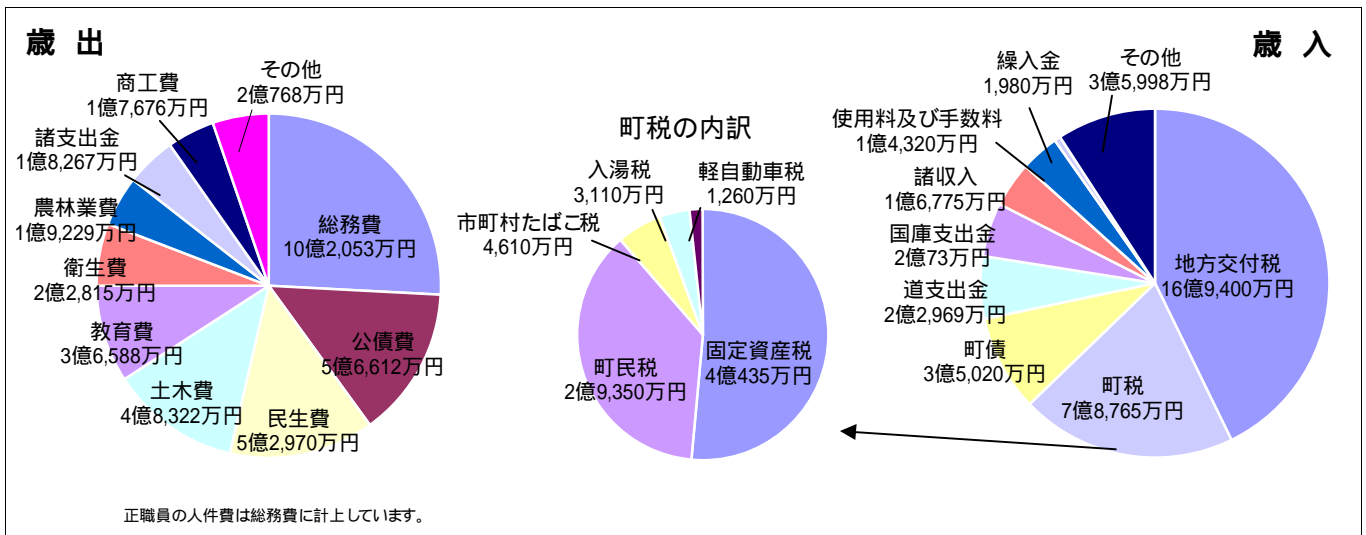
予算編成での歳入の確保は、国の地方財政計画を参考にしていますが、地方交付税については地方財政計画4.4%減に対し、行政改革の成果に対し、地方交付税の割増交付を受けられることを見込み、ほぼ前年と同額を計上しています。

また、町税では、発電所分の固定資産税の増収が見込まれるため、地方税(全国総額)15.7%増を上回る22.6%増で見込んでいます。

さらに、「東川町新行財政改革大綱」(自主・自立集中改革プラン)に沿った事業の見直しや効率化を進め、財源確保に努めました。

結果として、骨格予算とはいえ前年度予算の特殊要因を除いた額に近い予算額を確保しています。

一般会計当初予算の構成比



平成19年度の主な建設事業費

合併処理浄化槽設置整備事業(国補助)	995万円	電源立地交付金事業(公園、教育施設整備)	1,143万円
地域用水機能増進事業補完ハート事業(道補助)	5,170万円	東町4丁目団地整備(地域住宅交付金)	1億4,771万円
住宅用防災警報器設置工事(一部、地域住宅交付金)	1,013万円	中学校教育コンピューター整備	293万円
まちづくり交付金事業(道路・グリーンヴィレッジ整備他)	1億2,589万円	低コスト推進施設建設事業(補助金)	1,000万円
北1線道路改良・天人峡天津橋架替え事業(国交付金)	7,440万円		

東川町の財政を家計にたとえると..

平成19年度の町の予算は39億53百万円（一般会計）となりましたが、合計額のケタが大きくて実感がわかりません。」「財政用語が分かりにくい。」という声をよく耳にします。

そこで、家庭の家計と町の財政では仕組みが違いますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家計簿に置き換えた資料を作成してみました。

町の会計は、一般会計、特別会計に分けられていますが、ここでは平成19年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明したいと思います。

東川町の家計簿

(参考)
昨年度数値

収入

給料（町税・地方交付税）	314万円
パート収入（使用料・手数料など）	52万円
親からの仕送り（国からの補助金など）	83万円
借金（町債）	44万円
貯金の解約（繰入金）	3万円
財産（土地や家）の貸付など（財産収入）	4万円
合計	500万円

家族で稼いだお金
366万円

318万円

家族で稼いだお金
+ 親からの仕送り
449万円

409万円

支出

食費（人件費）	111万円
家族の医療費（乳幼児医療費などの扶助費）	24万円
光熱水費、被服費、その他雑費（物件費・補助費など）	164万円
車や家具の修理代（維持補修費）	5万円
子供たちへの仕送り（特別会計への繰出金、広域連合への負担）	57万円
借金の返済（公債費）	72万円
家の増改築（公営住宅建設、道路整備など）	62万円
貸付金（貸付金）	5万円
合計	500万円

生活費 361万円

330万円

生活費 + 借金返済
433万円

395万円

財産づくり

100万円

親戚などへの支援

5万円

収入の柱は給料の314万円とパートの52万円、それと親からの仕送り83万円です。支出は日々の生活費として361万円、住宅ローンの返済などに72万円、家の増改築費に62万円かかっています。

資料 平成18年度末基金（貯金）と町債（借金）残高見込

基金	百万円	町債	百万円
一般会計		(H17末)	
財政調整基金	305	269	一般会計
減債基金	204	203	建物（公営住宅除く）道路の整備などに借りたもの
公共施設整備基金	379	374	平成18年度末残高見込
ふるさと創生事業基金	110	110	うち国の交付税で補てんされる金額
地域振興基金	104	104	差引残高（町が負担する額）
地域福祉基金	343	343	1,899
写真の町文化基金	121	120	財源不足を補うために借りたもの（臨時財政対策債など）
未来を拓くみんなの夢基金	200	200	平成18年度末残高見込
総合体育館建設基金	16	16	全額が国の交付税で補てん
小計	1,782	1,739	1,415
土地開発基金	154	168	公営住宅の建設のため借りたもの（入居者の負担を基本）
備荒資金	76	75	平成18年度末残高見込
一般会計合計	2,012	1,982	1,451
特別会計			特別会計
公共下水、診療所	39	86	簡易水道事業分
			567
			下水道事業分
			999
			診療所分
			560
			うち国の交付税で補てんされる金額
			976
			差引残高（町と受益者の負担額）
			1,150